

第27回食品安全語部の会

「食品のリスクを考えるフォーラム」

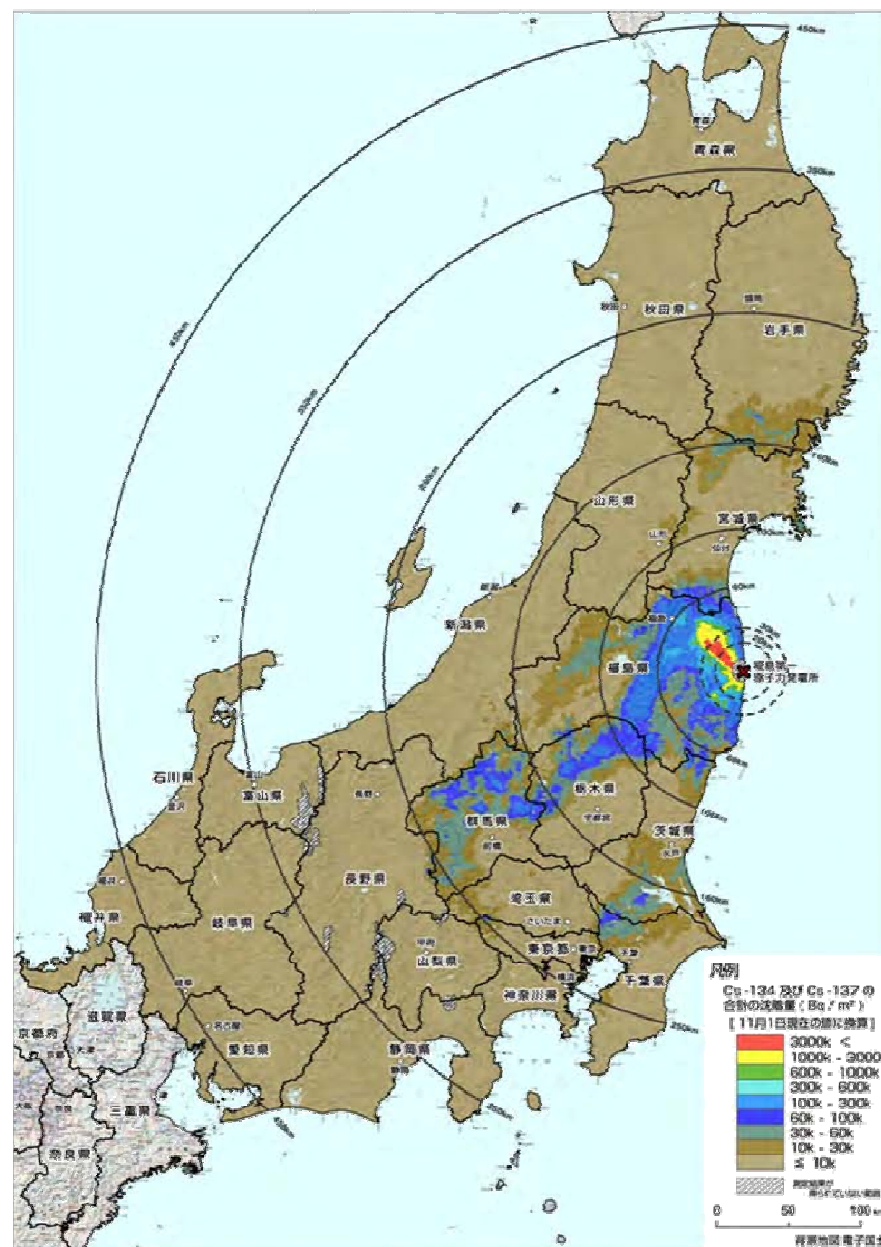
食品と放射性物質 ～群馬県の実践について～

平成24年1月19日(木)
県庁2階 ビジターセンター
健康福祉部食品安全局食品安全課

本県における放射性物質飛散の状況

文部科学省による航空機モニタリングの測定結果

文部科学省がこれまでに測定してきた範囲（11月11日改訂版）及び青森県、石川県、及び福井県内の地表面におけるセシウム134、137の沈着量の合計
（平成23年11月25日公表 文部科学省ホームページより抜粋）



食品中の放射性物質への対応

- 食品中の放射性物質に関する暫定規制値の設定
(原子力安全委員会が示した指標値を暫定規制値として設定) (3月17日)
- 食品中の放射性物質に関する検査対象自治体 (17都県) が検査計画を策定し、検査を開始 (3月18日)

【全国】 検査実施状況 89,786件

うち、暫定規制値超過 1,048件 (1月11日時点)

＜食品中の放射性物質の暫定規制値＞

核種	食品衛生法（昭和22年法律第233号）の規定に基づく食品中の放射性物質に関する暫定規制値（ベクレル/kg）	
放射性ヨウ素	飲料水	300
	牛乳・乳製品 注2)	
	野菜類（根菜、芋類を除く。）	2,000
	魚介類	
放射性セシウム	飲料水	200
	牛乳・乳製品	
	野菜類	500
	穀類	
	肉・卵・魚・その他	

注1) ウラン、プルトニウム及び超ウラン元素のアルファ核種についても、暫定規制値が別途定められている。

注2) 100ベクレル/kgを超えるものは、乳児用調整粉乳及び直接飲用に供する乳に使用しないよう指導することとされている。

食品中の放射性物質の検査について

I 検査の計画

原子力災害対策本部が示した「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」に基づいて策定

●対象自治体（17都県）

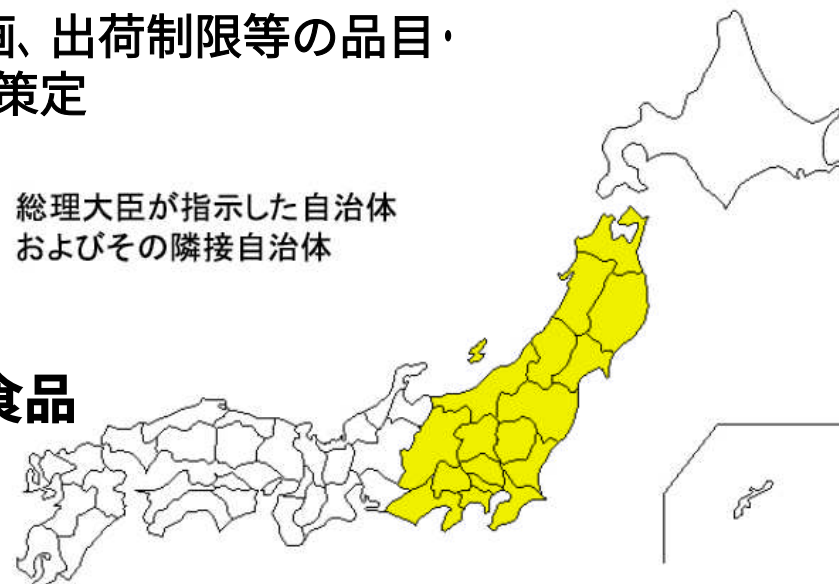
●対象品目

- ・これまで暫定規制値を超えた食品
- ・摂取量の多い食品
- ・出荷制限の解除後の品目
- ・生産状況による主要農産物
- ・市場流通品 等

●対象区域 ⇒環境モニタリングの結果等を勘案

●検査頻度 ⇒検出状況に応じて強化

総理大臣が指示した自治体
およびその隣接自治体

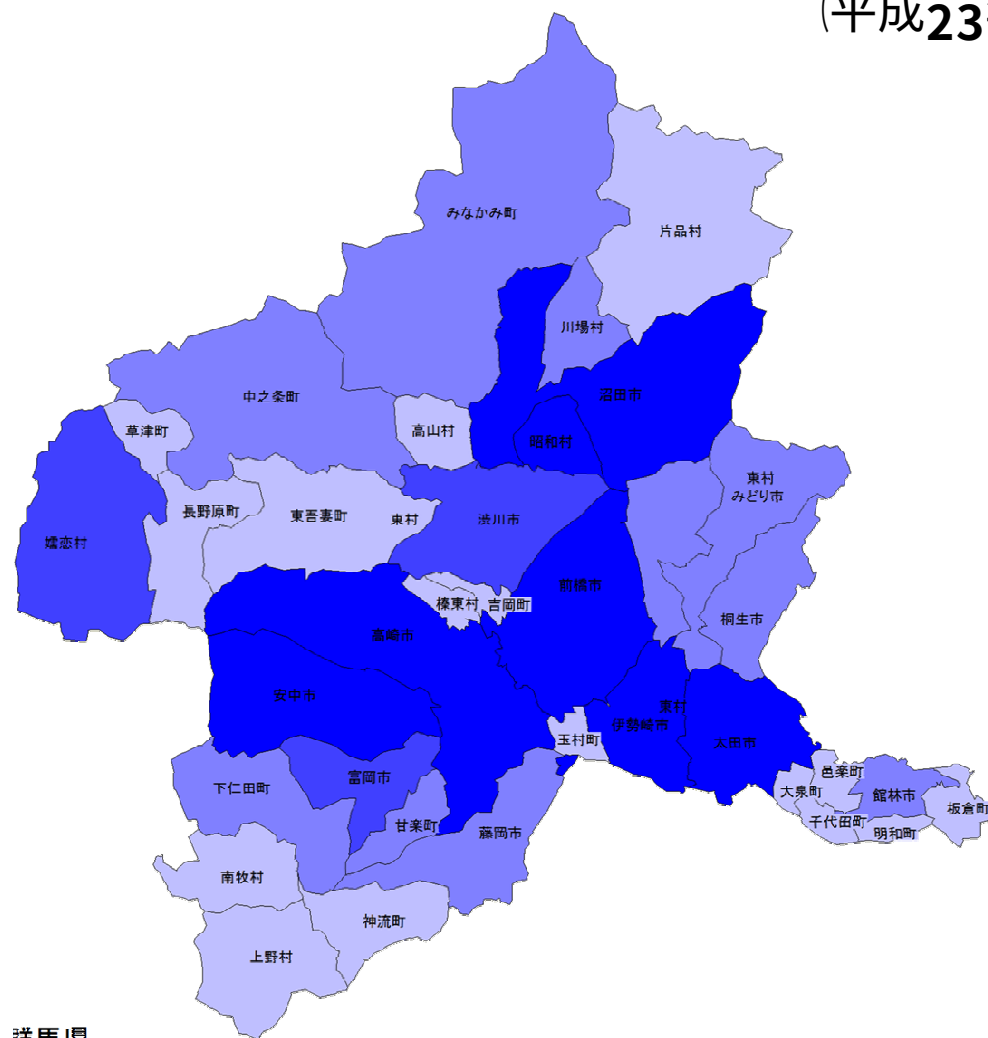


＜県内産農産物等の検査実績（平成**24**年**1**月13日現在）＞

分類	品目	種類	検体数	計
農産物	野菜	59	407	674
	果樹	15	68	
	麦	3	26	
	玄米	101		
	こんにゃく	19		
	その他	13	53	
畜産物	生乳	77		6,920
	牛肉	6,833		
	その他	3	10	
水産物		8	34	34
野生鳥獣		4	34	34
林産物		9	67	67
野生きのこ		5	5	5
流通食品		3	15	15
合計				7,749

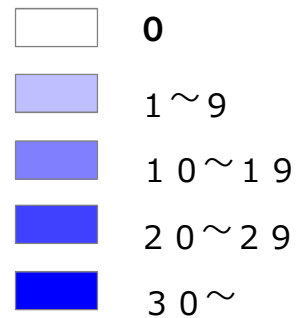
<県内産農産物等の放射性物質検査の実施状況【地域別】>

(平成23年3月17日～11月30日)



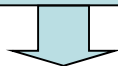
平成23

<検査件数>

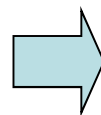


II 出荷制限等の措置

検査計画に基づいて
自治体が検査を実施



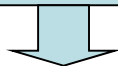
規制値を超過



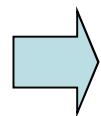
出荷停止



地域的な拡がりをもって発見



原子力災害対策特別措置法に基づく
出荷制限



著しく高濃度の値が検出された場合は
摂取制限

＜出荷制限の対象となっている食品（１月１０日時点）＞

県名	出荷制限品目
福島県	（一部地域） 原乳、ホウレンソウ、カキナ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、カブ、 原木シイタケ（露地・施設栽培）、原木ナメコ（露地栽培）、 キノコ類（野生のものに限る。）、たけのこ、くさそてつ（こごみ）、ウメ、 ユズ、クリ、キウイフルーツ、米（平成２３年産）、ヤマメ（養殖を除く。）、 ウグイ、アユ（養殖を除く。）、イノシシ肉、クマ肉 等 （全域） イカナゴの稚魚、牛肉 注）
茨城県	（一部地域）原木シイタケ（露地・施設栽培）、茶 （全域）イノシシ肉 注）
栃木県	（一部地域）茶、原木クリタケ（露地栽培）、原木ナメコ（露地栽培） （全域）牛肉 注）、イノシシ肉 注）、シカ肉
千葉県	（一部地域）原木シイタケ（露地栽培）、茶
神奈川県	（一部地域）茶
群馬県	（一部地域）茶
宮城県	（全域）牛肉 注）
岩手県	（全域）牛肉 注）

注）福島県、栃木県、宮城県、岩手県の牛肉及び茨城県、栃木県のイノシシ肉に係る出荷制限については一部解除

情報提供

- ・ 県ホームページ上に、食品安全情報センターを開設

放射性物質検査結果など、迅速にデータを公表。

- ・ 食品安全語部の会

各界の専門家を招いての講演会
(公開討論会)。



県民参加

- 食の安全情報通信員

手渡しによる「ぐんま食の安全情報」の配布。
通信員500人 配布先8,000人。

- 出前なんでも講座

もっと詳しく話を聞きたい方には、職員を派遣して講座の開催。

開催数：39回 参加者数：2,650人